

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年1月31日

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690300076
法人名	有限会社メディカルウイル
事業所名	グループホーム輝望の家
所在地	鹿屋市輝北町上百引1919-1 (電話) 099-471-3456
自己評価作成日	H25 10月 30日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kagoshima-kaigonet.com">http://www.kagoshima-kaigonet.com</a>
-------------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成25年11月28日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊かな緑に囲まれた当施設は空気もきれいで、散歩をしていると、施設で利用者様と作っている畑や高隈山がよく見渡せて、利用者様にとって良い気分転換となっております。また、日曜日以外は毎日入浴があり、身体の清潔が保持できるとともに、入浴剤を使用したり、音楽をかけながらの入浴を行っており、利用者様は大変リラックスしております。また、一人ずつ入浴を行うことで、職員との会話を楽しんだり、プライバシーも守られ、利用様も安心して入浴を楽しんでおられます。畑で収穫した野菜は、利用者様に皮をむいていただいたり、献立を一緒に考えたりと、共に過ごす時間も大切にしております。また、当施設のリビングは74.16㎡と広く、天井は吹きぬけで、開放感のあるリビングとなっております。対面キッチンなので、食事作りの音や匂いを感じることができて、食堂とはまた別に、リビングフロアもあり、ソファで利用者様がくつろげる空間も確保しております。身体機能の維持・向上に関しては、毎日ラジオ体操やレクリエーションを行い、利用者様は笑顔で生き生きと生活しておられます。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○市街地より少し離れた周囲は田園が広がる自然豊かな環境で、広い敷地に総合輝北ケアセンターとして同一法人のデイサービス、ミニデイサービス、有料老人ホームが隣接して建てられているホームである。これらの施設は日常的に交流があり、季節の行事や避難訓練・緊急時の対応など、相互に連携・協力できる体制が築かれている。

○地域との交流は非常に活発であり、日常的に福祉に関する相談を受けたり、台風時は避難場所として住民を受け入れるなど、福祉の拠点となっており地域の人から頼られている。施設が行う各種の行事・避難訓練等への地域の方々の参加も多く、また、日常的に近隣の方々の訪問や差し入れ等があり、利用者もこれらの人々との交流をととても楽しみにしている。

○利用者の尊厳を守ることを第一と考えて、全職員が日々のケアに取り組んでいる。利用者の生活状況を知らせる毎月発行の「輝望の家新聞」や毎月の請求書に添えているメッセージ等は利用者の家族にとっても喜ばれ、楽しみにされている。

○管理者は、何よりも職員が連携して利用者のケアに取り組むことが大切と考えており、意見が自由にいえる雰囲気づくりに配慮している。日常の業務の中で職員の意見や要望等を積極的に聞き取り、職員全体で意見交換を行って運営やサービスの向上に努めている。職員同士の信頼関係も築かれて連携も密に取れており、利用者へのケアや接し方について相互に話し合い、時には疑似体験を入れながら研鑽に励んで業務改善やサービス向上に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	全職員で二つの理念を作り上げ、毎日朝礼で出勤者全員で理念を朗読し、共有している。これまでの生活歴を理解し生活の場としての支援を意識してケアに努めている。	「二つの理念」に併せて、勤務時における姿勢を掲げてある「7つのアクション」を毎朝全員で唱和して共有し、日々利用者の思いをくみ取り常に寄り添うケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所の行事には、地域住民の参加を呼びかけボランティアで参加していただいている。又、地域振興会に加入し、地域の行事に積極的に参加し交流を図っている。	地域振興会に加入し、地域の清掃や各種の行事に積極的に参加すると共に、施設が実施する花見、敬老会、夏祭り等に家族や多くの地域住民に参加して頂いている。隔りのボランティアや中学生の職場体験等も受け入れ、利用者はこれらの人々との交流を楽しんでいる。散歩や買い物時の挨拶や会話及び地域住民からの日常的な野菜の差し入れ、台風時には地域の住民の避難場所として提供するなど、地域に根ざした施設運営に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議時に市役所の地域振興課職員も交えて地域住民の代表者に実践報告や現況報告を行い、認知症の理解を深めて頂けるよう努めている。又、地域住民の代表者からの事例を伺い、アドバイスをを行い、協力を行うように努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、利用者様の状況報告や作成した新聞を活用しての行事内容説明、今後の行事予定等を報告し、参加者様の意見や評価を頂いている。又、地域における状況も伺って意見交換を行い情報の共有と連携を図っている。	家族代表、地域住民や市担当者、民生委員、駐在所、消防団等が参加して定期的に開催している。ホームの現況及び行事や問題点への取り組み状況等の報告がなされるとともに、委員からは避難訓練等への助言や地域の高齢者に関する情報も出されるなど活発に意見交換が行われ、日々のサービス向上に役立てている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携  市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市町村とは電話や文書を通じて情報の提供や収集を行い、又、市が開催する研修会へは積極的に参加し、意見交換をしている。また、運営推進会議に地域振興課の職員に参加して頂き、実績の報告や意見交換を行っている。	市担当者には毎回の運営推進会議や行事等に出席して頂くとともに、ホームからも市担当者を訪問して現況を報告し併せて処遇に関する助言を受けたり意見交換を行うなど協働関係が築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践  代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	グループホーム輝望の家身体拘束廃止委員会を設置し、身体拘束についての勉強会を行い、全職員が理解した上でケアに取り組み、また、やむを得ない場合におけるの拘束については、ご家族に説明と同意を得た上でケアに取り組んでいる。	高齢者の権利擁護や身体拘束に関する研修は、毎月開催の職員会議で実施して理解を深めるとともに、日々のケアの中で職員相互に喚起しあって質の向上に努めている。センサーを活用するなど工夫して安全を確保し利用者の自由な暮らしの支援に取り組んでいる。近隣の方々とは日頃の交流も密で、見守りや声かけをしてもらえるような関係が築かれている。	
7		○虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に参加したり、研修資料を参考にして勉強会を行い、職員全員が学ぶ機会を設けている。勉強会で事例を確認し虐待の見逃しがないように注意を払い防止に努めている。虐待防止マニュアルを作成し、事務所に置きいつでも目を通せるようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	管理者や職員は、権利擁護の研修に参加し、それを元に皆で勉強会を行い、全職員で理解を深め、それらを活用できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時や解約時は、ご家族や本人様に十分な説明を行い、又、利用者様や家族等の不安や疑問点について伺い、納得されるまで説明を行い理解、納得して頂いている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関に苦情箱を設置し、いつでも気兼ねせず、苦情、相談、意見が言えるようにしている。又、苦情相談があった際には、ミーティングや職員会議等で全職員に周知し運営に反映させている。	利用者の思いや意見は声かけや所作の見守り等で把握に努めるとともに、家族とは主に面会や行事への来訪時に、話しやすい雰囲気作りに努めて多くの意見を頂くようにしている。毎日の申し送り時や毎月の職員会議で内容を共有し、十分に話し合い、速やかにケアへの反映に努め、本人や家族に報告している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営に関する職員の意見や提案を聞く機会として、毎月1回の職員会議やセンター会議に出席し、職員の意見に耳を傾け、全体で話合い、運営に反映させている。また、管理者は毎日のミーティングに参加し、場合によっては臨時の職員会も設けている	職員の意見や提案は、日常のケアの中や毎日の申し送りの際に、また、職員個々に合わせた声かけも行い、話しやすい雰囲気作りに努めて聞き取っている。管理者はこれらを業務改善や利用者へのサービス向上に反映させるために、時には利用者の立場になっての疑似体験等も取り入れた研修をするなど工夫して改善に努めている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は実績や勤務表を把握し日頃の介護現場の観察、個々に声かけを行いモチベーションが上がるよう努力し、必要時個人面談を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人外での研修では項目ごとに希望を募ったり、職員が均等に参加できるよう努めている。又、参加できなかった職員も勉強会を通じて把握し、皆が知識や技術の向上ができるよう努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>大隅地区認知症グループホーム協議会に開設当所から加入し、そこで開催される研修や、鹿児島県社会福祉協議会が開催する研修参加し、同業者との交流やサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サービスを導入する段階で、本人様の話を傾聴し本人が困っていること、不安なこと、要望に対してのサービス内容を一緒に考えたり、提案したりして納得して頂き、安心して生活が送れるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>サービスを導入する段階でご家族の困り事や不安なこと、要望を傾聴し、それに対応するサービス内容を一緒に考えたり、提案したりして納得されたら、体験をしていただいたり、現場をみていただきあんしんしていただけるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>サービスを導入する段階で、入所時のアセスメントやサマリ等で本人の状態把握と本人と家族の意向を傾聴し、又、言動をよく観察し、ニーズを把握した上で支援を行っている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者様と一緒にお茶を飲んだり、食事を一緒にしたり、レク体操や、行事等に参加したりして会話をし、常に生活を共にし、家庭的な雰囲気作りを行い暮らしの共有に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時は要望に応じて、居室に案内したり、テーブルをセッティングしご家族で団欒して頂けるように配慮している。また、生活状況を報告しながら、ご家族や本人様の要望も伺い、連携を図りながら支援を行うように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みのお店に買い物に行ったり、お墓参りに行ったり、また、地域の運動会や保育園の運動会に参加したり、行事の際は家族や地域の方に慰問を依頼し馴染みの人や場との関係が途切れないように支援を行っている。	利用開始時の聞き取りや、本人・ご家族との会話から把握した本人の希望を、支援経過記録、介護記録、業務日誌に記録して支援に活用できるように取り組んでいる。具体的には、近隣の散歩やドライブ、馴染みの商店での買い物をはじめとして、花見・墓参り等利用者の希望に添って、可能な限り関係の継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	フロアでは、気の合う利用者様同士隣に座って頂抱いたり、塗り絵や貼り絵、ちぎり絵等全員で取り組める活動を提供し孤立せずに支えあえる関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院でサービス利用が終了しても、面会を行い、経過観察をしたり病院スタッフとも連携を取っている。また、ご家族の相談もお受けして関係を断ち切らない取り組みに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活の中での様子を観察したり、会話を通して、ご本人の意見を求めたりして、出来る限り、ご本人の意向に添えるように努めている。	職員は日頃の利用者の表情や言動、またご家族からの情報を基にして、思いや意向をくみ取るように努めている。申し送りや介護記録等で情報の共有を図り、家族とも相談しながら利用者にとって、よりよい支援となるように努力を重ねている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人や家族、知人等から話を聞いたり、今まで利用されていたサービス事業所からの情報提供等頂き把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの1日の言動や過ごし方、心身の状況等観察を行い、気づきがあれば、記録に残すようにし、現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	3ヶ月ごとのモニタリングや日々の状況変化が見られた時、本人、家族、職員等で話し合いを行い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	介護計画は、利用者及びご家族の思いや意見を聞き取り、また、主治医や職員全員の意見を基に十分検討して利用者本位のものを作成している。支援の経過は支援経過記録等に丁寧に記入され、計画の見直しや修正を適切に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子やケアの実践、気づき等を個別記録に記入し、朝礼や職員会等で意見を出し合い、実践や介護計画の見直しに生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>時間にゆとりのある日課を作り、ご本人や家族の状況、その時々生まれる様々なニーズに対応できる柔軟な支援に取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進委員会を通して消防署、駐在所、民生委員、地域の方々との意見交換を行いサービスの向上に努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医、主治医と連携をとりご本人様が納得できる治療を受けられる環境を整えている。定期受診に関しては生活状況やご本人様の状況を聞き詳しく報告を行なっている。</p>	<p>利用者個々の利用前の受診の状況は十分に把握されており、本人や家族が希望する医療機関を受診できるように支援している。通院は家族もしくは職員が同伴しており受診結果は介護記録や支援経過記録簿に記載され、医師や家族との意見交換・情報交換も十分に行われている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>介護職員が生活、対話等で身体における状態を観察し看護職員への報告を行い早期発見、早期受診できるよう努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ご利用者様が入院した際に生活サマリーを作成し病院側への説明を行なっている。入院中担当医師や担当看護師より病状、身体状況の説明を受け退院時御利用者が安心して生活出来るよう受け入れ準備、フォローを行なっている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合の方針は入所時に本人様やご家族への説明を行っている。終末期になった場合は再度ご家族、主治医と話し合い方針を確認し共有している。</p>	<p>重度化や終末期の対応については、入所時に「重度化した場合の対応に係る指針」で説明して本人やご家族の同意を得ている。重度化した時点で再度、説明を行い本人や家族の意向を尊重して、主治医の助言や協力を得ながら施設で可能な限りの支援・対応ができる体制を築いている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年1回普通救命講習を受け対応を学んでいる。又、講習や勉強会を実施し急変や事故発生時に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の総合訓練は夜間、日中を想定し地域住民の方々も参加して頂き実施している。</p>	<p>消防署や地域の消防団・地域住民等も参加して、夜間を含めた避難訓練を年2回行うとともに、3カ月毎に自主訓練を実施している。関連の研修やマニュアルの整備もなされ、災害時の米、缶詰等の食品や飲料水等は十分備蓄されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の帰宅願望や不安な様子が見られる時は声かけし、訴えや様子をしっかりと聞くように心がけている。また、失禁等があった場合、プライドを傷つける事のないように対応している。	マニュアルを整備して、接遇や個人情報保護等の研修で充実を図り、利用者の尊厳やプライドを損ねるような声かけや言葉遣い・対応の防止に日常的に努めている。個人記録の管理や居室の保護にも十分に配慮がなされ、利用者の人格や感性を大切にされた対応に取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者がいつでも本人の思いや希望が表せるような雰囲気作りを行い、又、入浴時や外出時、本人の着たい服や使いたい物等自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の思いや一人ひとりのペースを大切にし、その人らしく、元気に笑顔で暮せるようにゆとりのある業務にし、希望に添って支援出来るように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入床前に明日着る服を一緒に選んだり、毎週日曜日には、手足の爪切りや耳掃除を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様自らホームの畑で収穫されて出来た野菜を職員が調理し、食事中、畑で育てている野菜の話で食卓が弾む。個々の疾患、嗜好を考慮し、献立を立て、利用者様には野菜の皮むき等手伝ってもらっている。	利用者の嗜好、食事形態、疾病や服用中の薬との影響等を十分に把握して、利用者が希望する食事づくりに努めている。季節感のある食材や少し豪華な行事食、弁当持参の花見や運動会参加等食事を楽しめるように工夫している。利用者が育てた野菜も活用し、食材の下ごしらえや下膳等は利用者も一緒に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量のチェックを行い、又、本人の嗜好調査を行い、好きな食事の提供を行ったりして、1日を通じて必要な栄養の確保が出来るよう支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後は、毎回ご自分で出来る方には声かけし、歯磨きをして頂き、ご自分で出来ない方には職員が介助を行い、口腔内の清潔に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意、便意のある方は、トイレで排泄されており、また、一人でトイレに行けない方に対しては、オムツを使用せず、リハビリパンツや尿取りパットを使用し、トイレに誘導を行い、トイレでの排泄が出来るように支援している。	利用者個々の習慣や身体機能に応じた排泄支援になるように排泄チェック表を活用して、不安や羞恥心にも十分配慮しながら可能な限りトイレで排泄できるように支援している。 尿意の無い重度の利用者には、特別なバイタルチェック表でパターンを把握するなど工夫し、個々に合わせた適切な対応になるように職員が十分に話し合い、ケアプランにも組み込んで実践に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎食の度に野菜を取り入れ、ヨーグルトを摂取して頂いたり、水分補給もこまめに行っている。また、食事後はすぐにトイレ誘導を行い排便を促すようにしている。また、散歩や悠々サイクルをして適度な運動を取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週6日、入浴の支援を行っているが、利用者様に声をかけて、希望を伺い入るタイミングを計っている。また、リラックスして気持ちよく入浴をして頂けるように音楽をかけたり、入浴剤を用いて支援している。	基本的には週6回の入浴であるが、失禁等には随時シャワー浴をしてもらうなど衛生面に留意しながら、個人の好みを汲みとりゆったりと楽しんで頂いている。入浴を拒否される場合には、言葉かけ、時間帯、順番を変更するなど工夫して、スムーズに入浴して頂いている。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者様一人ひとりが自分のペースで休憩したり、安心して気持ちよく眠れるように、体調に気を配り、室温や温度、寝具調整を適宜行っている。又、日中休まれる方も、安眠して頂けるようにカーテン等で採光の調整を行っている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員は看護職を中心に、一人ひとりの疾患や、薬局やクリニックから書面としていただいている薬の作用、副作用について把握し、名前、日付け、曜日を読み上げ、服薬の支援を行っている。体調の変化が見られた際には看護師に報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や楽しみごと等話を伺い、その人の持っている力を生かした役割や生きがい作りの支援を行っている。野菜作りの得意な方には畑で季節の野菜作りを行って頂き、皆で野菜の皮むき等したりして喜ばれている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの希望を聞いて買い物をしたり、墓参りに行ったり、散歩をしたりしている。また、野外活動では、家族にも声かけを行い、一緒に参加してもらったり、嗜好品を把握し外食の支援も行い、大変喜ばれている。	一人ひとりの希望にそって、日常的に散歩や買い物を楽しんだり、時には墓参りやドライブの外出、家族とも相談しながら花見や運動会参加、家族も参加してのイベント等、可能な限り多くの支援を行い外出が楽しみとなるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>一人ひとりの希望や力に応じてお金を所持したり使えるように外出や買い物等は職員が立会い、見守りや声かけ等支援を行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人の希望があれば、いつでも事業所の電話が利用出来るようにしている。手紙のやり取り希望があれば、代筆の支援も行う。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空間は、常に清潔にし、快適な環境を保つように空調の調節も行っている。また、玄関やフロアには、季節の花を飾ったり、利用者様と作ったその時期に合わせた壁面飾りなど飾って季節間を感じてもらっている。</p>	<p>広い敷地に余裕のある建物で、広いウッドデッキがあり、季節に合わせてお茶のみや日光浴が楽しめる。天窓のあるリビングはゆったりと明るく、室温や換気にも十分な配慮が感じられ、玄関やフロアには季節の花が飾られている。家庭的な雰囲気を大切に照明器具やテーブル等にも十分配慮しており、随所に利用者の作品が飾られ、ソファも配置されて気持ち良く寛げるように工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>好きな時間にのんびりとゆったり過ごせるように、共有空間のフロアに一人ひとりに決まったソファ席があり、思い思いに過ごされている。また、気の合った利用者同士で楽しく過ごせるようにソファの位置も自由に移動出来るように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人様、ご家族と相談して、利用者様が今まで使っていた家具や好みの物を置き、配置も、利用者様が使いやすいようにし居心地良く過ごせるようにしている。	居室はホームが準備した備品のほかに、本人やご家族の希望に沿って使い慣れた家具や身の回りのものを自由に持ち込んで頂き、その人らしく落ち着いて暮らせるように支援している。利用者が暮らしやすいように、本人やご家族からの希望に柔軟に対応できるように配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	利用者様一人ひとりが安全かつ自立した生活が送れるように、一人ひとりの状態に応じて、声かけや一部介助を行い、残存機能の保持が出来、無理のないように出来る事をして頂いている。		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない